

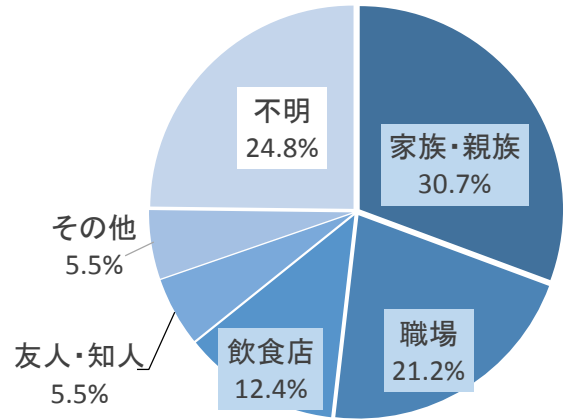
感染症に強い 健康なまちづくりを目指して ～家庭での感染の特徴から分かったこと これから活かせるポイント～

感染力の強い「変異株」が主流になってきています。自分の行動が、大切な人を守ることに繋がります。家庭内での感染の特徴と今後の対策について、ポイントを確認しましょう。

感染経路第1位は家族・親族

- 感染経路は「家族・親族」が約3割、次いで「職場」、「飲食店」が占める。
- 男性は感染経路不明や職場からの感染が多く、女性は家族・親族からの感染が多い。
- 男女ともに家族・親族からの感染が上位である。
- 特に10代未満、10歳代の子どもは約9割が家族からの感染である。

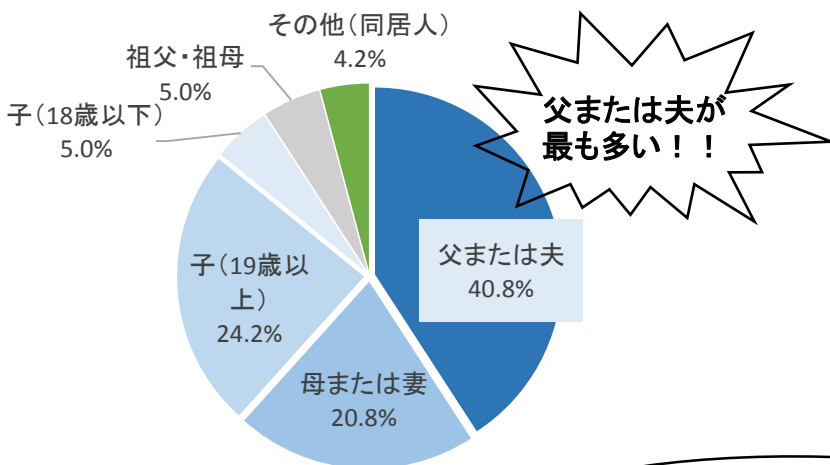
❖感染経路 令和3年3～5月



令和3年3～5月 家庭内感染の特徴

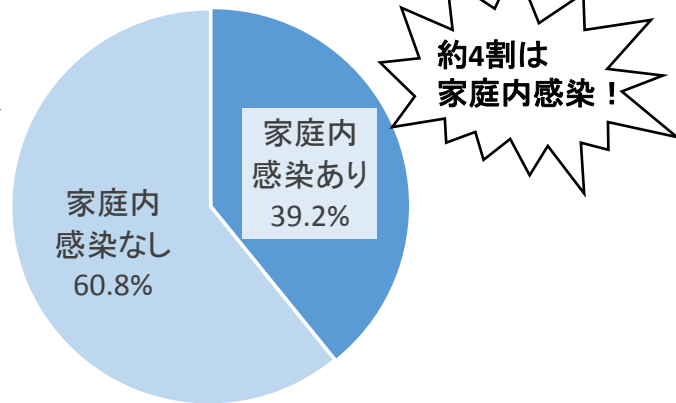
陽性者のうち、「同居者あり」が76.2%、「同居者なし」が23.8%。

❖家庭の中で最初に感染した人(推定)



父または夫が最も多い！！

❖同居者ありの者のうち 家庭内感染があった世帯



約4割は家庭内感染！

❖家庭内感染していた事例

感染が疑われる家族がいる時の過ごし方に注意！！

- ・部屋を分けずに、同じ部屋で生活していた。
- ・トイレや洗面所などの共用部の消毒をしていなかった。
- ・タオルや歯磨き粉を共用していた。
- ・同じテーブルで会話をしながら食事をしていた。
- ・1回検査で陰性だったため、一緒に過ごしていた。

喉の違和感、咳、だるさなどのかぜ症状があればすぐ相談、受診を！

相談専用電話 ～健康や感染に不安のある方～

TEL 0120-567-177
FAX 024-573-5320

月～金曜日/午前8時30分から午後9時
土日祝日/午前8時30分から午後5時15分

受診・相談センター ～感染が疑われる方～

TEL 0120-567-747
FAX 024-573-5320
24時間(毎日)

～家庭内で感染を広げないためのポイント～

手すりやドアノブ、電気のスイッチ、リモコンなどを、アルコール(60%以上)か、次亜塩素酸ナトリウム(500ppm)でふき取り消毒し、その後、水道水だけで水拭きをする。

家族が集まるリビングなどは、常時換気を行う。窓は10cm以上開放。給気口は「開」にする。換気が少ない時は窓の近くで扇風機を使って空気の流れを作る。

※家族で症状があったり、濃厚接触者がいる場合には、寝室も分けるのが望ましい。

※家族に症状がある場合は家の中でもマスクを着用する。食事やお風呂などでマスクを外すときは一人の時に。

鼻をかんだり、目を拭いたりしたあとのゴミは、触らないように捨て、手を洗う。ゴミ箱はふた付きが望ましい。

トイレの換気扇は使用時に必ず稼働。使用後はふたを閉めてから水を流す。消毒は、次亜塩素酸ナトリウム(1000ppm)でふき取り。

トイレの後、食事の前は、必ずハンドソープを使って手を洗う。手を拭くタオルの共用はしない。

玄関に消毒用アルコールを置き、帰宅後に共用部を触る前に消毒の後、手洗いへ。60%以上のアルコールが有効。



2人以上乗車するときは車内でもマスクを着用し、車のエアコン設定を外気導入に。

【問い合わせ先】

福島市保健所 024-572-3152